

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。(20点)

-
- ② 派遣先の職場で、周りの人たちから浮いている気がしている (CL1)。
 - ③ 派遣社員の営業アシスタントから、仕事の手を抜けと言われているようで、戸惑っている (CL3)。
 - ④ 自分ができることをセーブしながら働くのは、とてもストレスである (CL4)。
 - ⑤ いっそのこと転職して正社員に戻った方がもっと伸び伸びと働けているのではないかと考えている (CL5)。
-

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何かを記述せよ。(20点)

*①自己理解、②仕事理解、③長期のキャリア・ライフプラン、④コミュニケーション、⑤性格や考え方の特徴(自己肯定感・自己効力感)などで、考えていきます。

-
- ①自己理解に関して:自分ができることをセーブしながら働くのは、とてもストレスに感じるということから、自己の能力や適性について、正しく理解していない。
 - ②仕事理解に関して:派遣社員ではなく、転職して正社員に戻った方がもっと伸び伸びと働けて良いと思っていることは、それぞれの立場の違いを適切に把握していない。
 - ③長期のプランに関して:伸び伸びと働くために、転職して正社員を選択するとしており、長期的なキャリアプランや働き方について展望を有していない。
 - ④コミュニケーションに関して:仕事のやり方や範囲などについて、職番の同僚や上司・責任者と話し合っておらず、仕事をしている部署におけるコミュニケーションに問題がある。
 - ⑤思考の傾向:自己の能力や仕事に向かう姿勢についての肯定的な評価が、職場の中でのコミュニケーション不足に繋がっていることについて、思いが至っていない。
-

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どのようなことを実施したいか、あなたの具体的な方策を記述せよ。

*目標は、問1と問2を総合したものであること(問1で示した「相談者が訴えている問題」と問2で示した「キャリアコンサルタント視点で捉えた問題」を解決する目標であること)が必要

*「方策」は、その「目標」と関連づけながら、具体的に、もれなく記述する。

【目標】

相談者が仕事上でできることの自己理解、担当している仕事の内容や進め方についての仕事理解、長期の働き方について考える⇒職場の同僚や上司ともコミュニケーションをとる⇒今後の働き方について適切な意思決定ができるように支援する。

【具体的な方策】

- ①自己理解について:職務上のことで出来ることややらなければならないことをどのように行うか、また、仕事の進め方についての考え方を確認してもらう。
 - ②仕事理解について:現在の職場で、派遣社員という立場で「伸び伸びと仕事をする」ことが可能かどうかを考えてもらう。
 - ③長期のキャリア・ライフプランについて:長期のワーキングキャリアやワークライフバランスのことについても考えてもらい、転職をめざすかどうかについて考えてもらう。
 - ④コミュニケーションについて:職場の同僚や上司と、営業アシスタントの仕事のやり方や範囲、個々のスタッフの役割分担をどうするかなどについて、相談してもらう。
 - ⑤以上のことを通じて、相談者が現在の職場で勤務を続けるか、転職して正社員を目指すかについて適切に意思決定ができるように支援する。
-